



2025年12月12日
第092号

JR 東労組
Yokohama



JR東労組横浜地本
発行人 梶田優一
編集情宣担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申
第8号

磯子駅における「車内貫通作業省略のトライアル」の
中止を求める緊急申し入れ 団体交渉を行う！②

3. 運転士が身の危険に晒され、お客さまの命にもかかわる問題があるため、トライアルも含めて車内貫通作業省略を中止すること。

【会社回答】現時点において、車内貫通作業を省略するトライアルを中止する考えはない。なお、危険を感じた場合は、指令に連絡すると共に、乗務員室にとどまり、危険の対象とは対峙しないこととなる。

組合	会社
1項から議論してきたが、お客さまを安全に目的地までお運びするという理念に反する。1人、2人だから問題ないで済むのか。	トライアルで検討していきたい。 <u>トライアルは中止しない。</u> 対立！
運転士が暴力行為やトラブル等に巻き込まれる。トラブル対応ハンドブックの内容に反し、1対1の状況がつくり出されている。しかも引き上げ線で密室状態となり、逃げ場がない。会社が自ら定めた指針に反する形になる。	<u>それはない。他の箇所においても全く発生しないわけではない。</u> 対立！
サービス面においても低下する。	何もしていないわけではない。
磯子駅止まりにおける車いす対応について、教育が不十分であったため、後続電車に遅れを生じさせたのは課題である。トライアルを行う上で見通しが甘いのではないか。	定期にご利用されるお客さまをであったが、橋本オフィスとコミュニケーションを図り、再発防止に向けて議論してきた。
再発防止と言うが、現場ではワンマン訓練等もあり、指導員の負担が多い。現場が振り回されているのではないか。	<u>そうは思っていない。</u>
一方的になつてないか。	橋本オフィスとコミュニケーションを図ってきている。
トライアルを行い、問題なければ本実施するのか。	<u>本社とコミュニケーションを図り、判断していく。</u>
引き上げ線で拘束等の暴力行為が発生したらどのように対応すればよいのか。	<u>防犯スプレーや業務用携帯電話等の様々なツールがある。</u>
お客さまと密室で相対することに不安を感じるとの声もある。	<u>聞いていきたい。</u>
様々議論してきたが、認識が一致しないため、トライアルを即刻中止すること。	<u>中止の考えはない。</u> 対立！



二次災害発生のリスクがある！

急病のお客さまが取り残されたら
すぐに救急搬送ができない！



中止の考えはない

会社側と認識が一致せず、団体交渉は対立で整理！
トライアルの過程で問題があれば、
関係分会とともに再度申し入れを行います！